

速報第5号

各関係機関団体の長  
各病虫害防除員  
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病虫害防除所長

平成21年度病虫害発生予察速報第5号について

このことについて、病虫害発生予察速報第5号を発表したので送付します。

水 稲

- 1 病虫害名：セジロウンカ・トビイロウンカ・コブノメイガ（海外飛来性害虫）
- 2 発生地域：県下全域
- 3 発生時期：セジロウンカ；若齢幼虫発生期 8月11～15日  
トビイロウンカ；若齢幼虫発生期 8月11～15日  
コブノメイガ；若齢幼虫発生期 8月5～9日
- 4 発生量：セジロウンカ；平年より少・前年より多  
トビイロウンカ；平年並・前年よりやや多  
コブノメイガ；平年より少・前年並
- 5 飛来状況及び発生状況
  - (1) 6月1日より7月27日までに計23回、本県上空に下層ジェット気流がかかり、飛来の可能性があることが飛来予測モデルにより示された。ネットトラップ及び予察灯によるウンカ類の捕獲状況から、6月22～24日と6月28日～7月2日と7月8～11日及び7月20～27日に発生した同気流により、4回程度海外飛来性害虫が飛来したと考えられ、その誘殺数から6月29日頃と7月25日頃に大きな飛来があったと考えられる（表1、表2）。
  - (2) 4月から7月25日までの県下5地点の予察灯において、セジロウンカの総誘殺数は453頭（平年672頭、前年27頭）で、平年より少なく、前年より多い。トビイロウンカの総誘殺数は6頭（平年22頭、前年3頭）で、平年より少なく前年並である。なお、コブノメイガは誘殺されていない。
  - (3) 7月5半旬の定期調査では、セジロウンカの10株当たり払い落とし成幼虫数は平均44.4頭（平年27.3頭、前年10.4頭）で、平年、前年より多い。発生圃場率は95.9%（平年

81.3%、前年80.0%)で、平年、前年よりやや多い。

- (4) また、トビイロウンカの10株当たり払い落とし成幼虫数は平均0.28頭(平年0.23頭、前年0.09頭)で、平年並で、前年より多い。発生圃場率は8.2%(平年14.4%、前年6.7%)で、平年より少なく、前年並である。
- (5) また、コブノメイガの食害株数は平均1.8%(平年7.1%、前年2.7%)、食害葉率は0.03%(平年0.41%、前年0.1%)で、平年より少なく前年並である。また、30㎡当たり払い出し成虫数は0.1頭(平年0.4頭、前年0.7頭)と少なかった。

## 6 防除上注意すべき事項

- (1) 飛来のあった日を起点に、今後のトビイロウンカの発生予想パターン図を作成した(図1)。パターン図によると、防除適期(第2世代幼虫発生期)は8月11~15日頃と考えられる。
- (2) トビイロウンカについては、増殖率が高いうえ、平成17年以降多発傾向が続いているので、下記の要防除水準に達した圃場では防除を実施する。なお、本種の発生密度については、地域やほ場毎に異なるので、それぞれのほ場における発生状況を必ず確認する。  
**要防除水準：8月上旬100株当たり20頭 8月下旬100株当たり100頭**
- (3) トビイロウンカについては、イミダクロプリド剤に対する感受性低下が認められているので、本剤が処理されたほ場においては今後の発生状況の把握に努める。
- (4) コブノメイガは、セジロウンカやトビイロウンカと同時期に飛来したと考えられるため、今後の発生状況に注意する。飛来があった日を起点にした発生予想パターン図を作成した。(図2)。現在までのところ、飛来量は少ないと考えられることから、ウンカ類との同時防除を行う。
- (5) 海外飛来性害虫については、梅雨明けまで下層ジェット気流に乗って飛来する可能性があるため、今後発表する発生予察情報を参考にする。

表1 セジロウンカの誘殺状況

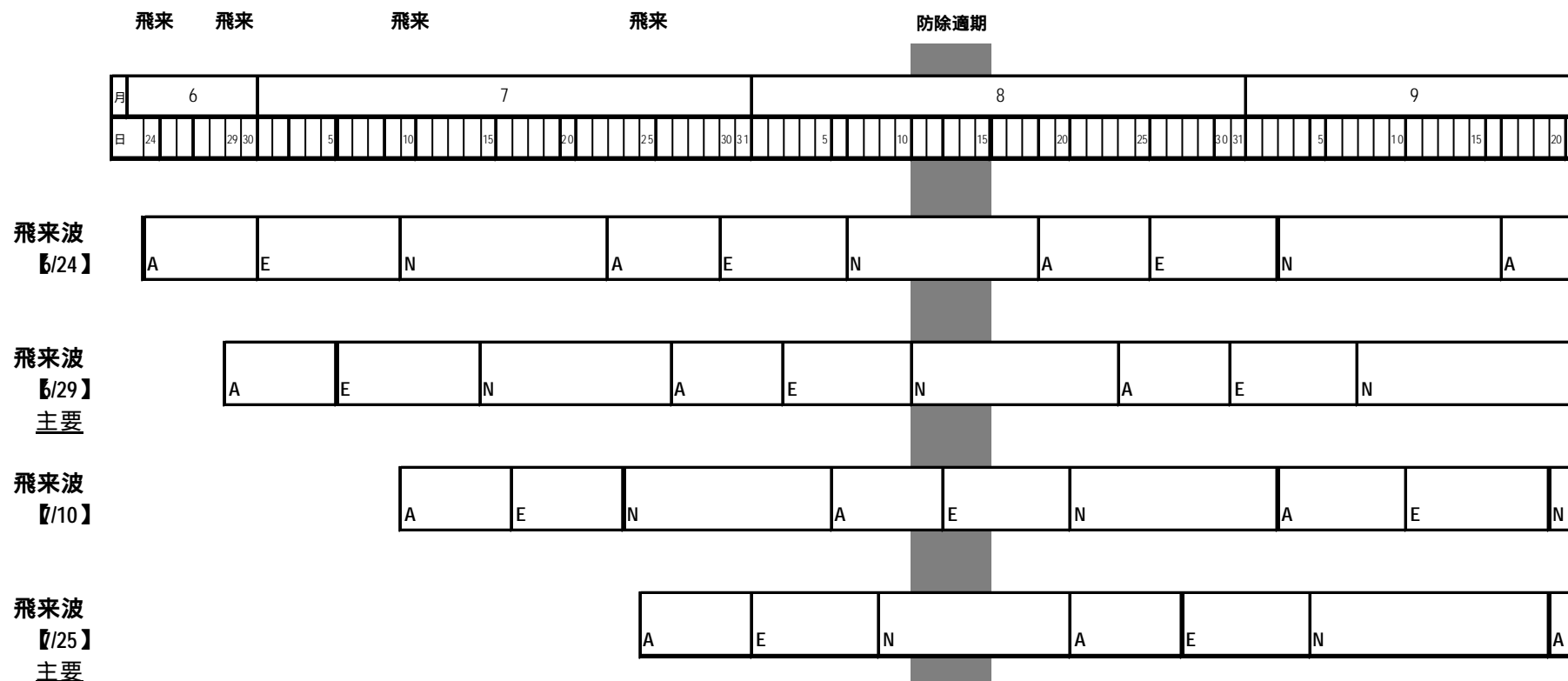
月日	ネットラフ 筑紫野市	予察灯					合計
		筑紫野市	筑後市	行橋市	二丈町	遠賀町	
5月24日	1	0	0	0	0	0	0
6月22日	0	0	2	0	0	0	2
6月23日	1	2	0	0	0	0	2
6月24日	0	1	6	0	0	0	7
6月25日	2	0	1	0	0	0	1
6月26日	-	0	2	0	0	0	2
6月27日	-	0	1	0	0	0	1
6月28日	-	0	0	0	0	0	0
6月29日	0	3	22	7	0	2	34
6月30日	4	1	3	-	0	0	4
7月1日	2	0	6	0	0	3	11
7月2日	0	0	2	2	0	0	4
7月3日	-	0	1	2	0	0	3
7月4日	-	0	-	1	0	0	1
7月5日	0	0	-	0	0	0	0
7月6日	0	0	-	0	0	1	1
7月7日	0	0	0	0	0	-	0
7月8日	0	0	5	0	0	-	5
7月9日	0	0	0	0	0	-	0
7月10日	0	0	3	14	0	-	17
7月11日	-	0	0	8	0	-	8
7月12日	-	0	0	1	0	-	1
7月13日	0	0	1	0	0	-	1
7月14日	0	0	0	0	0	0	0
7月15日	0	0	0	1	0	0	1
7月16日	0	0	0	0	0	0	0
7月17日	0	0	0	0	0	2	2
7月18日	-	0	0	0	0	0	0
7月19日	-	0	0	0	0	0	0
7月20日	-	0	0	0	0	1	1
7月21日	0	3	0	0	0	0	3
7月22日	1	0	0	0	0	5	6
7月23日	0	0	2	4	0	2	8
7月24日	0	0	2	1	0	0	3
7月25日	-	5	19	9	0	294	327

表2 トビイロウンカの誘殺状況

月日	ネットラフ 筑紫野市	予察灯					合計
		筑紫野市	筑後市	行橋市	二丈町	遠賀町	
5月24日	0	0	0	0	0	0	0
6月22日	0	0	0	0	0	0	0
6月23日	0	0	0	0	0	0	0
6月24日	0	0	0	0	0	0	0
6月25日	0	0	0	0	0	0	0
6月26日	-	0	0	0	0	0	0
6月27日	-	0	0	0	0	0	0
6月28日	-	0	0	0	0	0	0
6月29日	0	1	0	0	0	0	1
6月30日	0	0	1	-	0	0	1
7月1日	0	0	0	0	0	0	0
7月2日	0	0	0	0	0	0	0
7月3日	-	0	0	0	0	0	0
7月4日	-	0	-	0	0	0	0
7月5日	0	0	-	0	0	0	0
7月6日	0	0	-	0	0	0	0
7月7日	0	0	0	0	0	-	0
7月8日	0	0	0	0	0	-	0
7月9日	0	0	0	0	0	-	0
7月10日	0	0	0	0	0	-	0
7月11日	-	0	0	0	0	-	0
7月12日	-	0	0	0	0	-	0
7月13日	0	0	0	0	0	-	0
7月14日	0	0	0	0	0	0	0
7月15日	0	0	0	0	0	0	0
7月16日	0	0	0	0	0	0	0
7月17日	0	0	0	0	0	0	0
7月18日	-	0	0	0	0	0	0
7月19日	-	0	0	0	0	0	0
7月20日	-	0	0	0	0	0	0
7月21日	0	0	0	0	0	0	0
7月22日	0	0	0	0	0	0	0
7月23日	0	0	0	0	0	0	0
7月24日	0	0	0	0	0	0	0
7月25日	-	2	2	0	0	0	4

注) - : 調査なし : 下層ジェット気流を利用した飛来予測モデルによる本県への飛来予測のあった日。

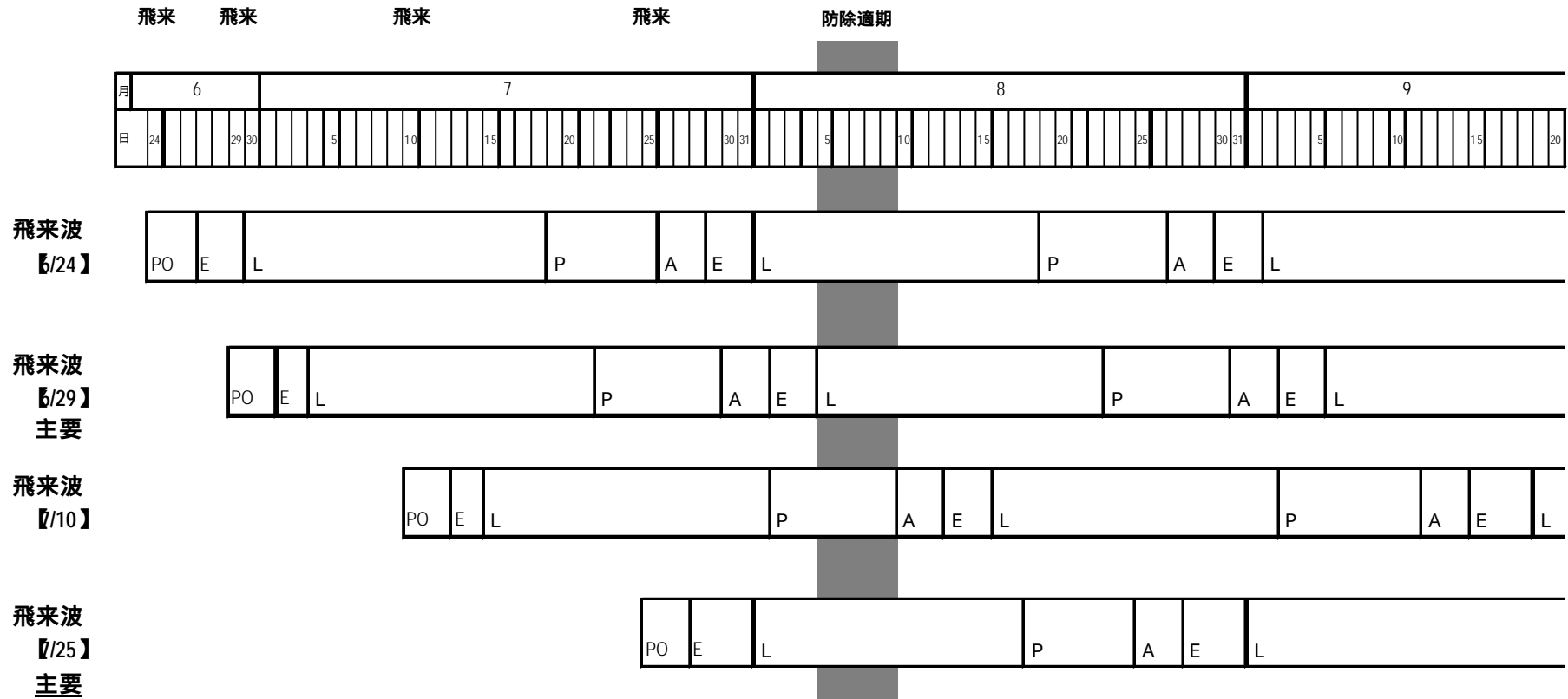
図1 飛来に基づくトビロウカ発生予想パターン図



(注)

- (1) 发育段階
  - A 成虫
  - E 卵
  - N 幼虫
- (2) 気温は太宰府のアメダスの平均気温を使用した
- (3) 平均気温は 7月23日までは本年のデータ、7月24日以降は平年値

図2 飛来に基づくコブノメイガ発生予想パターン図



注)

(1) 发育期間

PO: 産卵前期間

A: 成虫

E: 卵

L: 幼虫

P: 蛹

(2) 気温は太宰府のアメダスの平均気温を使用した

(3) 平均気温は7月23日までは本年のデータ、7月24日以降は平年値

(4) コブノメイガはウンカ類と同時期に飛来したと推定